

2024年3月期第3四半期

決算説明会

2024年1月31日

SBテクノロジー株式会社

証券コード 4726

1. 業績概況	P. 2
2. 中期経営計画の進捗	P. 9
3. 決算添付資料	P. 16
4. 会社情報	P. 32

業績概況

SB Technology

FY23
Q3業績

通信の投資抑制やフォントワークスの連結除外により売上高は減収
採用強化などにより販管費は増加するも利益率は改善傾向

受注
状況

通信領域の影響などによりQ3受注高は前期比▲21億円減少したものの
12月末受注残高としては過去最高の266億円

通期
見通し

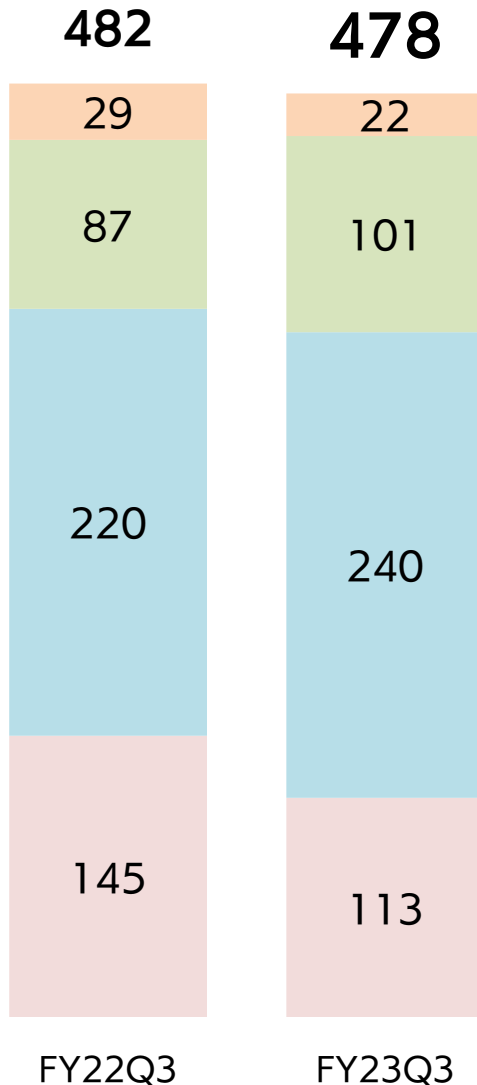
子会社サイバートラストの業績予想修正、
フォントワークスの株式等譲渡の影響により
売上高 ▲10億円 / 営業利益 ▲3億円 / 当期純利益 +1億円の修正

- 通信の投資抑制やフォントワークスの連結除外により減収、収益性は改善し営業利益増益
- フォントワークスの株式等譲渡に伴う費用や売却益を計上し、純利益は50億円の増益

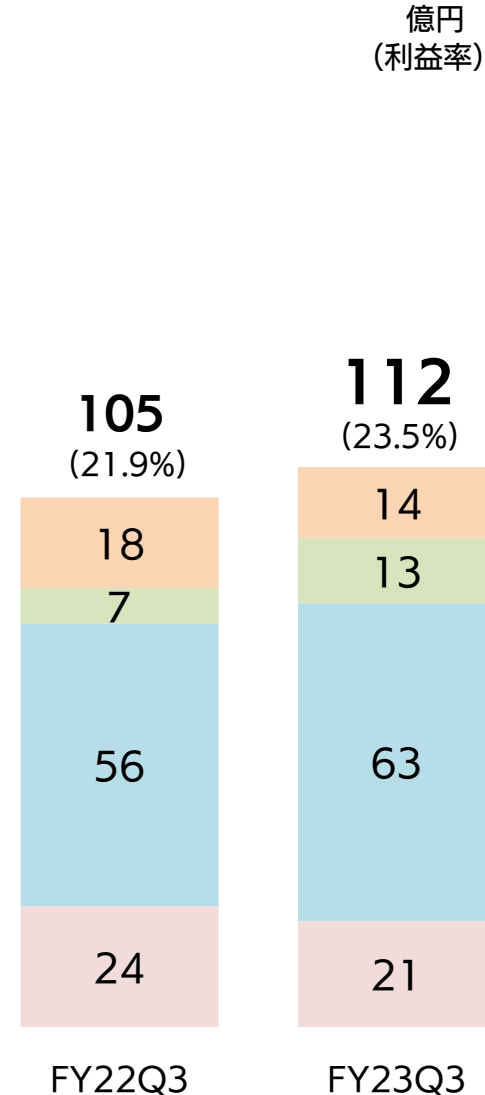
	百万円 (利益率)	FY23Q3累計	FY22Q3累計	増減額	増減率
売上高		47,839	48,231	▲391	▲0.8%
営業利益		3,607 (7.5%)	3,541 (7.3%)	+66	+1.9%
経常利益		3,453 (7.2%)	3,489 (7.2%)	▲35	▲1.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		過去最高 7,166 (15.0%)	2,108 (4.4%)	+5,057	+239.9%
EBITDA ※		4,862	4,778	+84	+1.8%

※EBITDA = 営業利益 + のれん償却額（販管費） + 減価償却費

売上高



売上総利益



個人： 減収・減益

- ノートンライフロックとの契約変更、及びフォントワークスが連結から除外されたことによる影響

公共： 増収・増益

- 農林水産省が掲げるDX戦略案件が順調に増加
- 自治体情報SC※1などの運用案件増加により増益

エンタープライズ： 増収・増益

- 注力顧客向けクラウド案件が堅調に推移
- MSS※2の売上高はYoY1.5倍の成長を継続

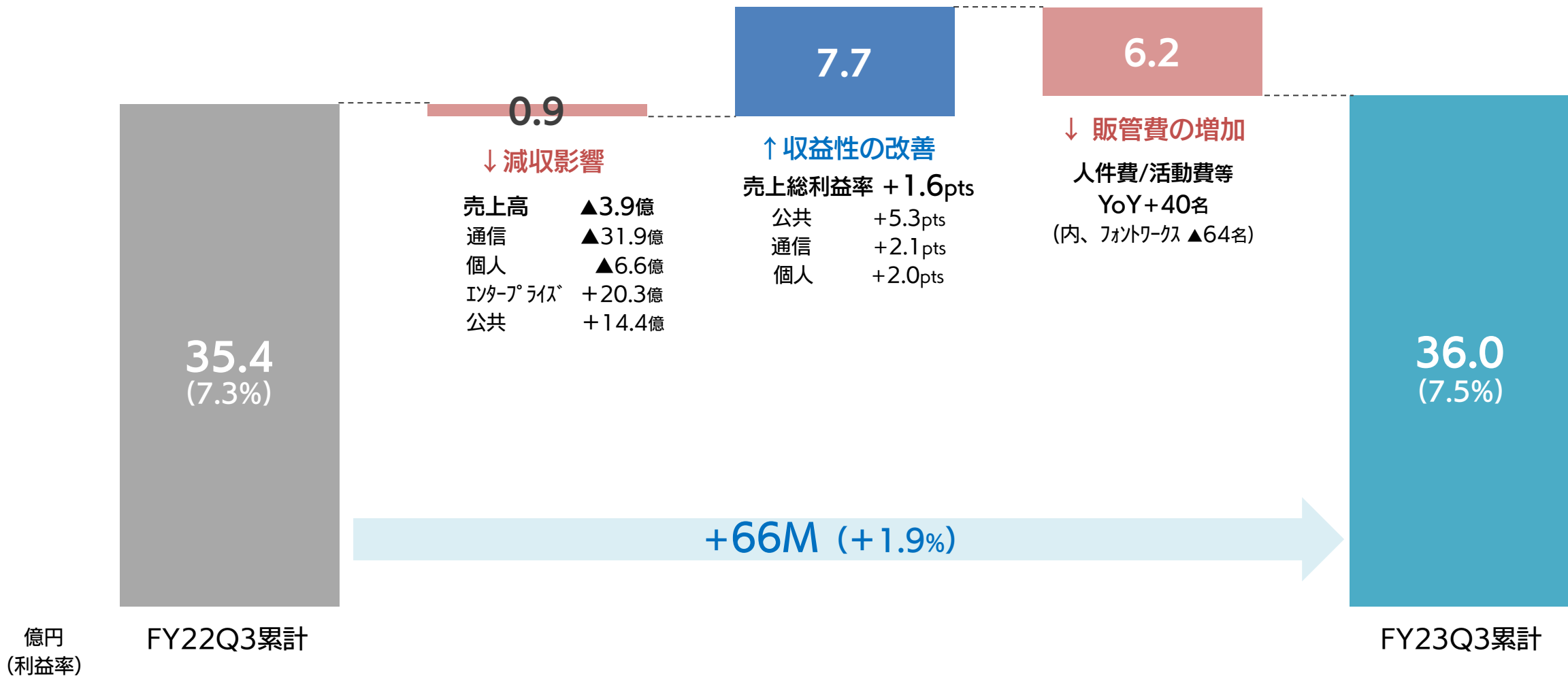
通信： 減収・減益

- ベンダーマネジメント案件の減少や投資抑制影響により減収・減益したものの、システム開発の効率化や売上高構成比の変化により利益率は改善

※1：セキュリティクラウドの略

※2：マネージドセキュリティサービスの略

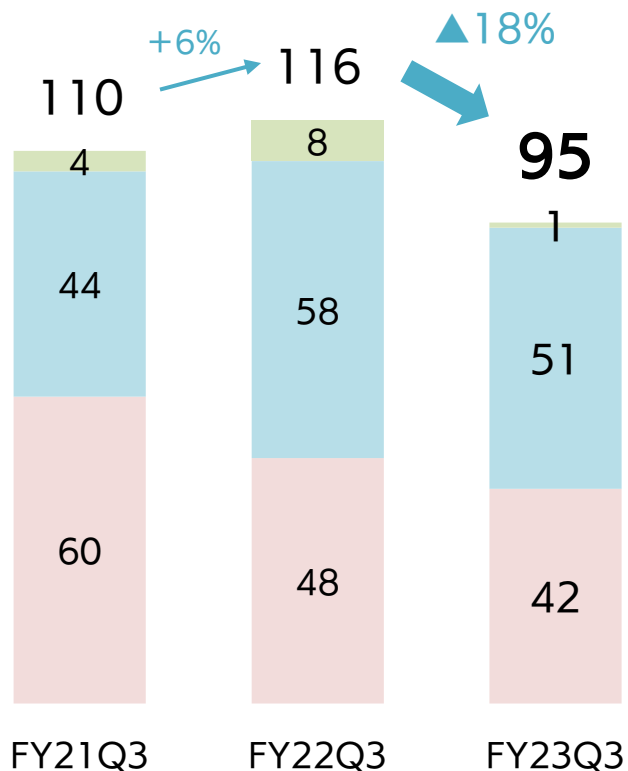
- 通信や個人が減収するも継続して収益性は改善、売上総利益率+1.6ポイント
- 採用等リソースの強化に伴い販管費は増加、フォントワークスを除き104名の増員



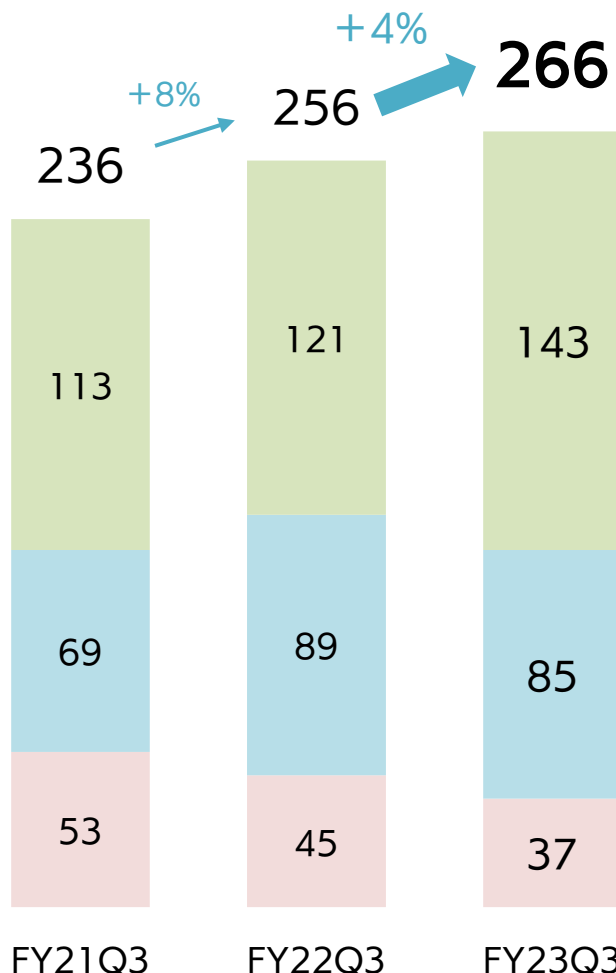
受注高

億円

- 公共
- エンタープライズ
- 通信



受注残高



単体受注残高
(YoY)

10億円増

FY23Q3 主な受注状況

- エンタープライズ：薄利な大型ライセンス販売が剥落(約8億円)、クラウド構築案件は増加
- 通信：社内システムの定常開発やベンダー管理案件が減少
- 受注残高のうち約5割がFY23売上予定

業績予想を 下方修正

- 子会社サイバートラストの業績予想修正に伴い、売上高▲10億円/営業利益▲3億円の修正
- 当期純利益はフォントワークスの株式等譲渡の影響により+1億円

	百万円 (利益率)	FY23予想 (’23/7/19修正)	FY23予想 (今回修正)	増減額	FY22	前期比	
						増減額	増減率
売上高		68,000	67,000	▲1,000	67,227	▲227	▲0.3%
通信		16,300	16,050	▲250	19,575	▲3,525	▲18.0%
エンタープライズ		35,400	34,400	▲1,000	30,356	+4,043	+13.3%
公共		14,000	14,000	0	13,224	+775	+5.9%
個人		2,300	2,550	+250	4,070	▲1,521	▲37.4%
営業利益		5,900 (8.7%)	5,600 (8.4%)	▲300	5,557 (8.3%)	+43	+0.8%
経常利益		5,750 (8.5%)	5,450 (8.1%)	▲300	5,499 (8.2%)	▲49	▲0.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益		8,200 (12.1%)	8,300 (12.4%)	+100	3,497 (5.2%)	+4,803	+137.3%

※フォントワークスはQ3以降連結対象外

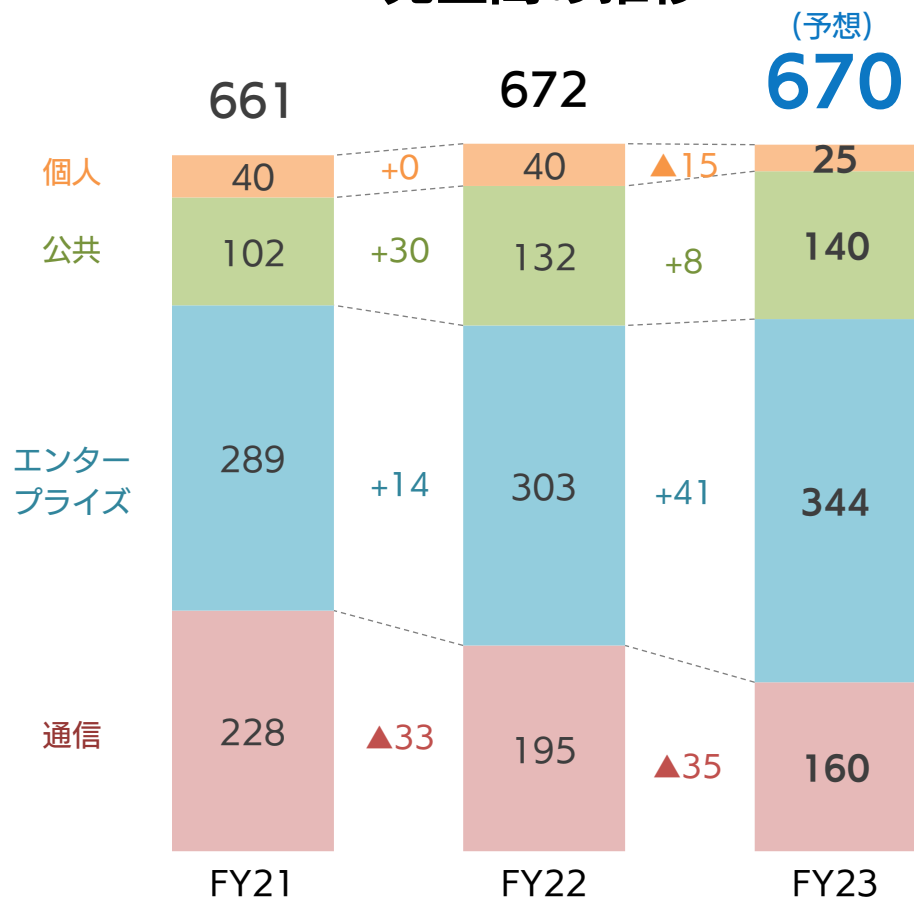
中期経営計画の進捗

第4次中期経営計画（FY22～FY24）

＝ SB Technology

(億円)

売上高の推移



個人

- 「クラウド・セキュリティへの注力」のため、フォントワークスの株式等譲渡

公共

- 農林水産省を中心に申請/地図領域のビジネスを拡大し、デジタル庁案件も獲得
- 自治体ビジネスも情報SCが4県から12県に拡大し、オポチュニティが拡大

エンタープライズ

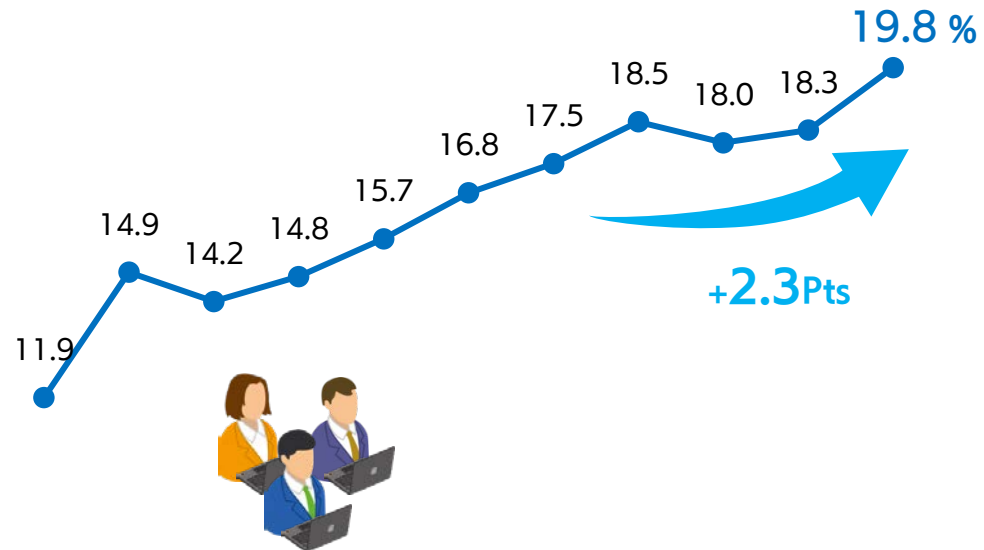
- 「クラウド・セキュリティへの注力」により売上高は大きく拡大
- 自社サービスであるMSSも前期比1.5倍を継続し、着実に成長

通信

- ベンダーマネジメント案件の返却/投資抑制により親会社ビジネスの比率は低下
- 原価コントロールにより着実に利益をあげられる体質へ変化

今後も「大きく成長する」ために各マーケットで施策を実行
その結果3年間で事業ポートフォリオは大きく変化し、公共・エンタープライズが拡大

売上総利益率の推移

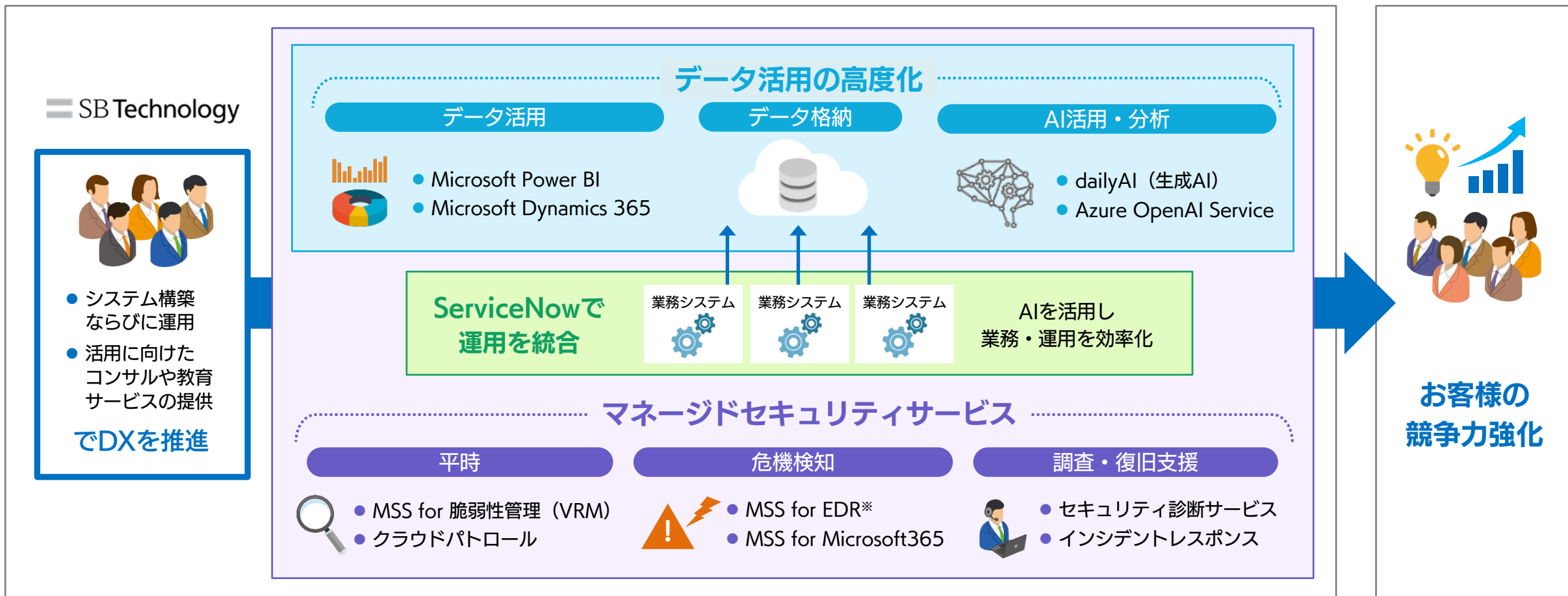


Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
FY21				FY22				FY23		

通信向けビジネスの動向

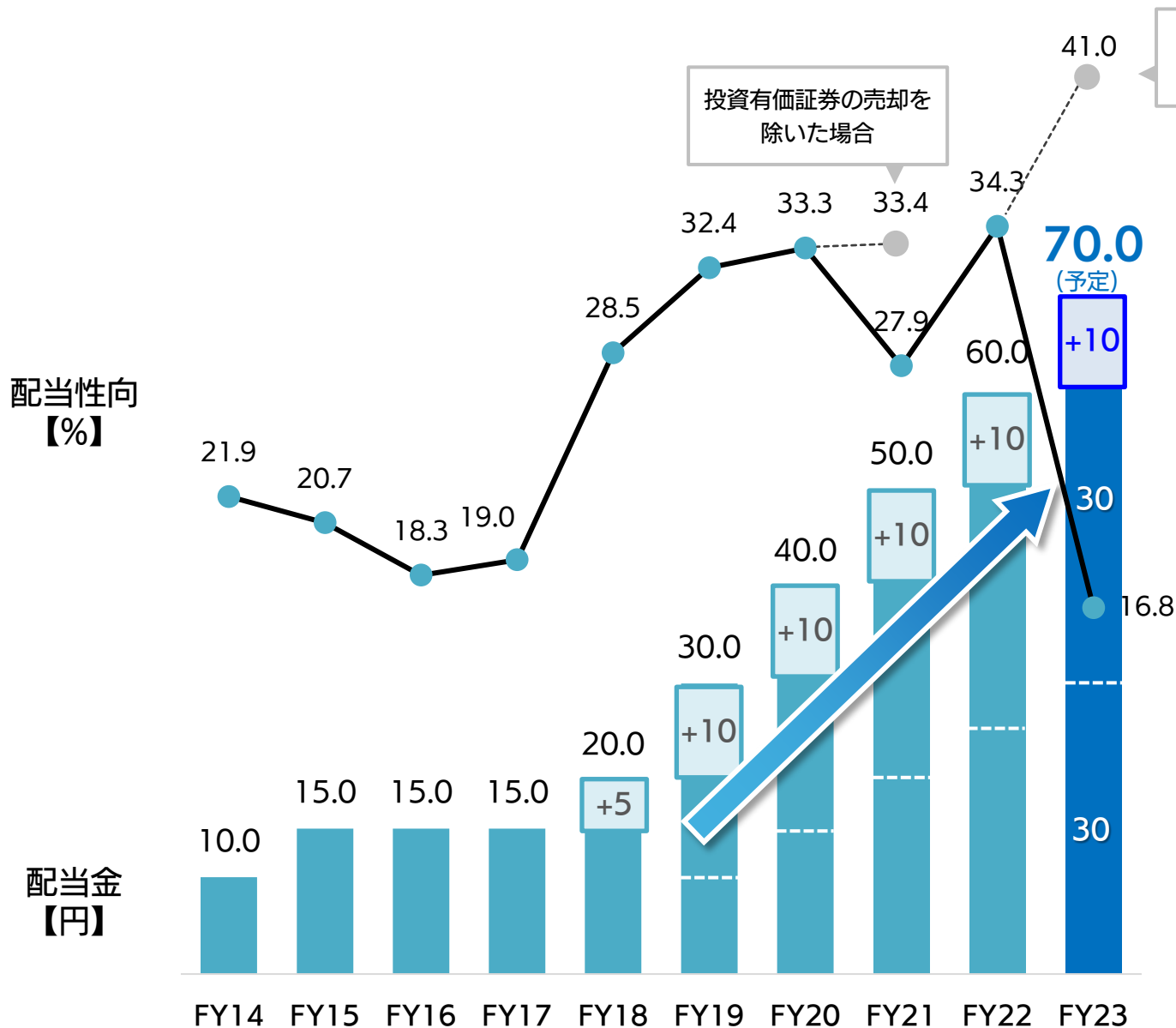
FY23	投資動向	設備投資は抑止傾向で前年度から減少
	注力ポイント	投資抑止影響により売上げが難しいため、原価コントロールによる利益率改善
↓		
FY24	投資動向	FY23同等水準を想定
	注力ポイント	原価コントロールによる利益率改善に加え、ソフトバンクの成長領域である法人事業への提案活動を強化し成長

原価コントロールの取り組みは着実な成果を上げ、利益率は改善
来期は成長領域での案件獲得活動を増やし案件を創出



セキュアな環境をベースにデータ活用までを一貫してサポート
お客様のDXを促進するパートナーへ

株主還元



フォントワークス
株式等の売却影響を
除いた場合

投資有価証券の売却を
除いた場合

**24年3月期は
10円増配し年間配当70円(予定)**

フォントワークスの連結除外後も
営業利益の着実な成長が見込めることから
10円増配を予定

2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、配当額を調整
FY23の配当性向は業績予測に基づく予測

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology

決算添付資料


＝ SB Technology

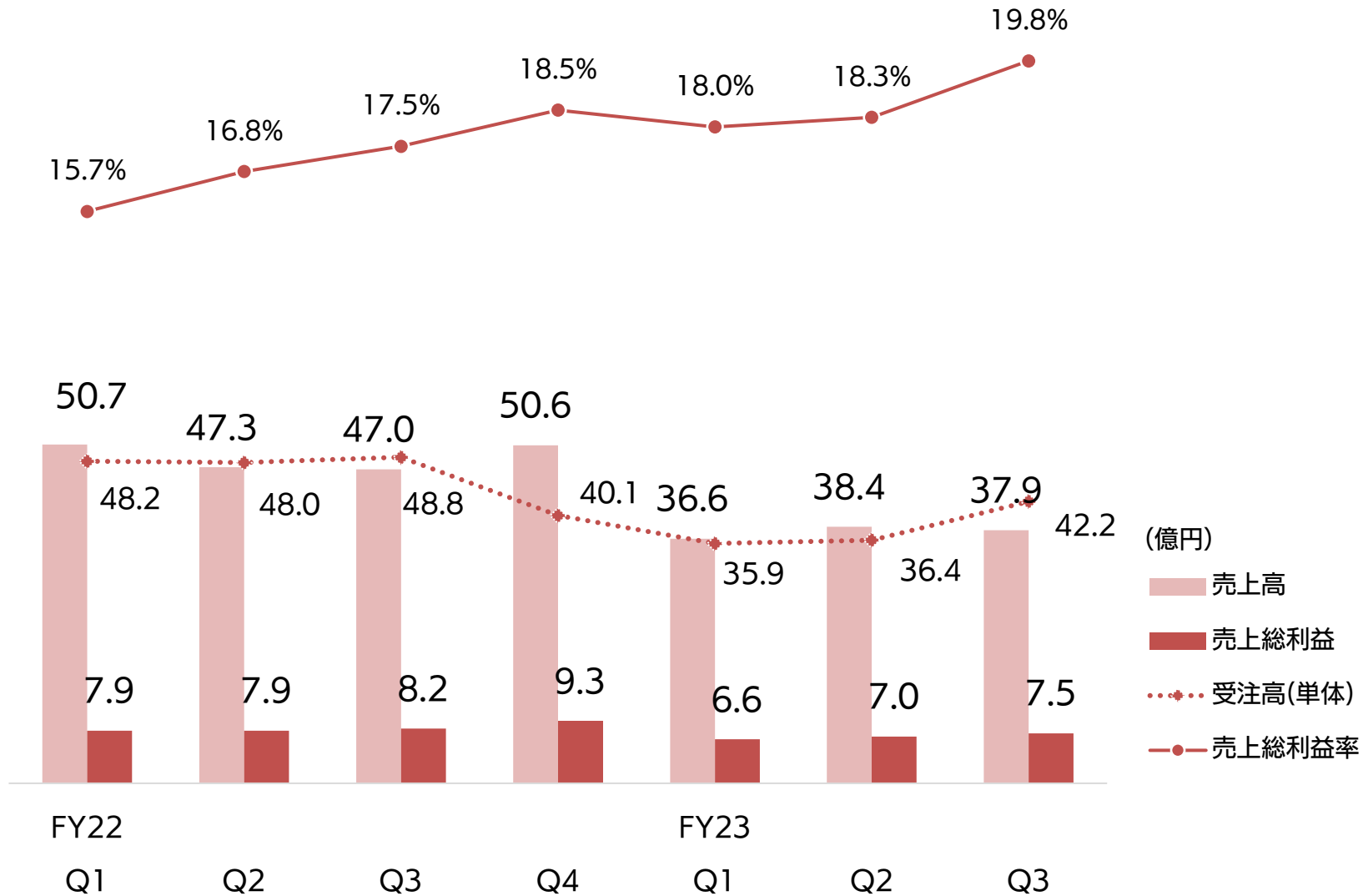
- 通信領域における投資抑制やベンチャー・マゼム外案件の返却、フロントワークスの連結除外により減収
- エンタープライズ・公共の伸長により営業利益は53百万円増益

	百万円 (利益率)	FY23Q3	FY22Q3	増減額	増減率
売上高		15,633	16,524	▲891	▲5.4%
営業利益		1,324 (8.5%)	1,271 (7.7%)	+53	+4.2%
経常利益		1,271 (8.1%)	1,266 (7.7%)	+4	+0.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		過去最高 893 (5.7%)	762 (4.6%)	+131	+17.2%
EBITDA ※		1,705	1,685	+20	+1.2%

※EBITDA = 営業利益 + のれん償却額 (販管費) + 減価償却費

2023年3月期より、事業ポートフォリオの変革の様子や
当社業績と外部環境・他社との比較がわかりやすくなるよう以下のとおり変更いたしました

	マーケット区分	ソリューション区分	利益指標
FY22以降	通信 エンタープライズ 公共 個人	クラウドソリューション セキュリティソリューション テクニカルソリューション 機器・ライセンス	売上総利益
			
FY21まで	SBグループ 法人/公共 個人	ビジネスITソリューション コーポレートITソリューション テクニカルソリューション ECソリューション	限界利益



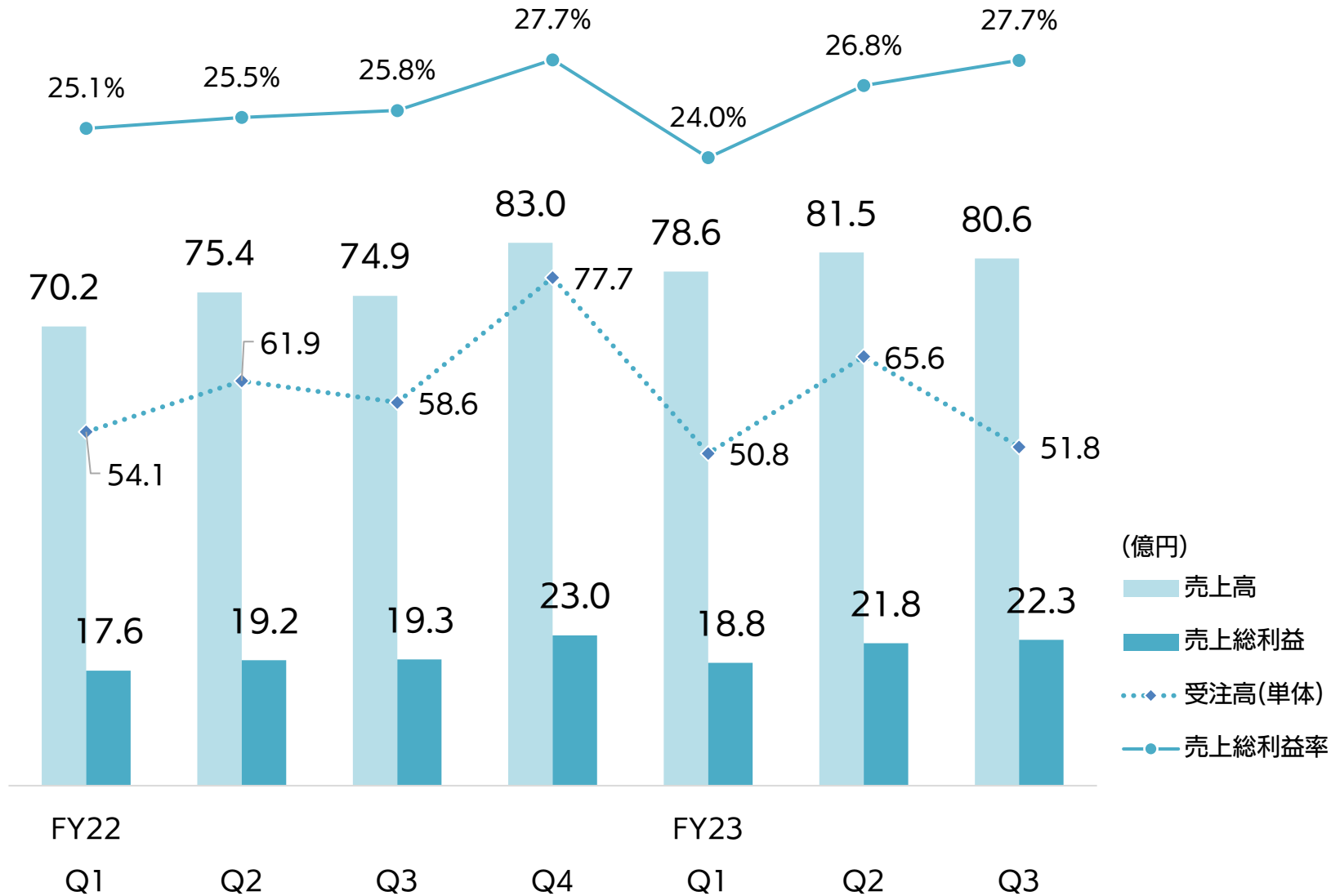
通信 (前年同期比)

受注高 (単体)

- 社内システムの定常開発やベンダーマネジメント案件が減少

売上高/売上総利益

- ベンダーマネジメント案件や投資抑制の影響により減収
- システム開発の効率化等が進み利益率が向上



エンタープライズ (前年同期比)

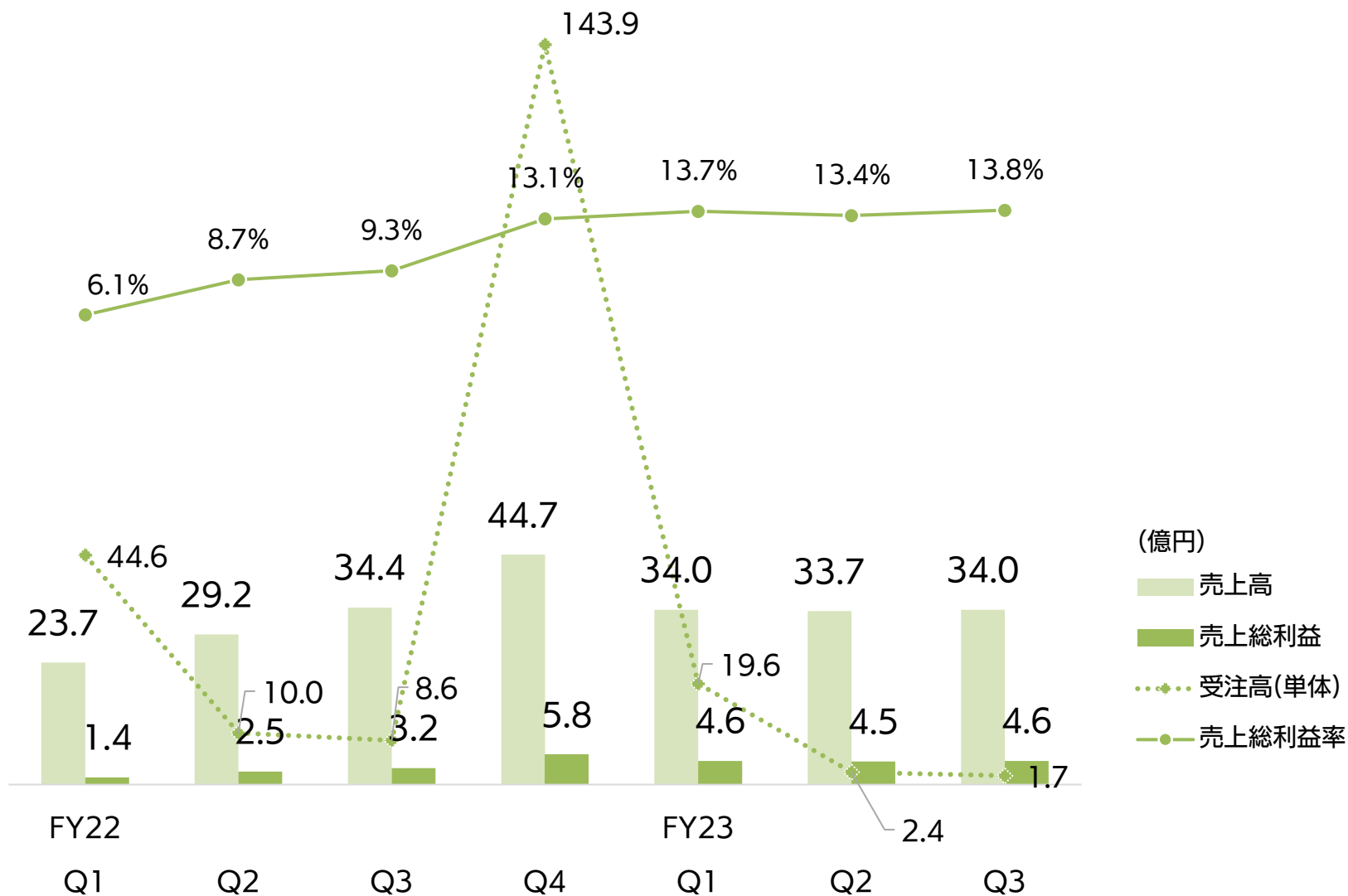
受注高 (単体)

- 薄利な大型ライセンス販売が剥落、クラウド構築案件は増加

売上高/売上総利益

- 品質管理の向上により主に注力顧客向けのクラウド開発案件の利益率が改善
- MSS※売上高はYoY約1.5倍と順調に成長

※：マネージドセキュリティサービスの略



公共 (前年同期比)

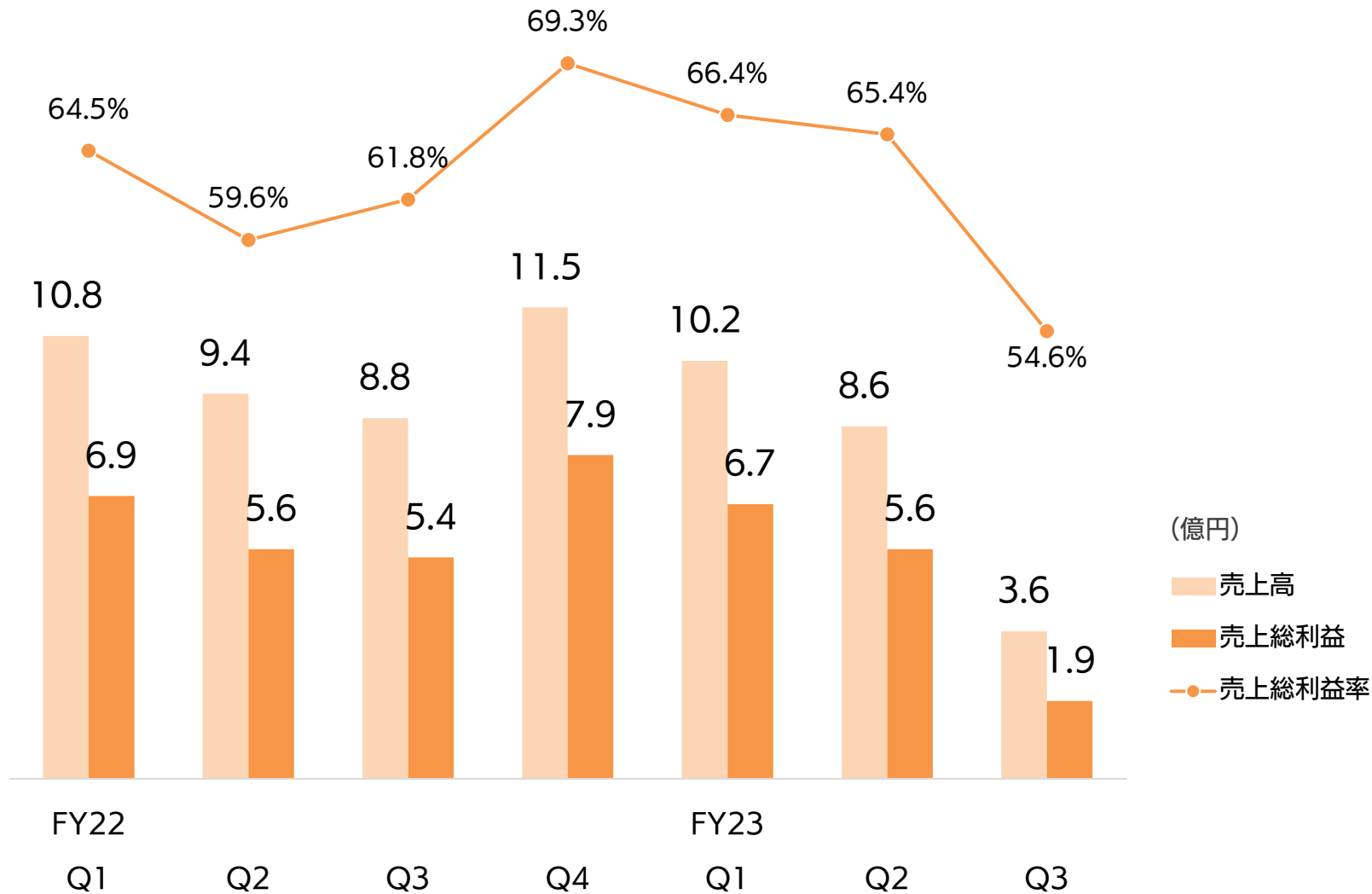
受注高 (単体)

- 来期予算の獲得に向けた活動に注力

売上高/売上総利益

- 農林水産省が掲げるDX戦略案件は増加するも、自治体情報SC※の運用フェーズ移行により減収
- 自治体情報SCや農林水産省のDX戦略案件の運用が増加し、増益

※：セキュリティクラウドの略



個人 (前年同期比)

売上高/売上総利益

- ノートンストアの契約変更の影響及びフォントワークスがQ3以降連結除外となったことにより、減収・減益

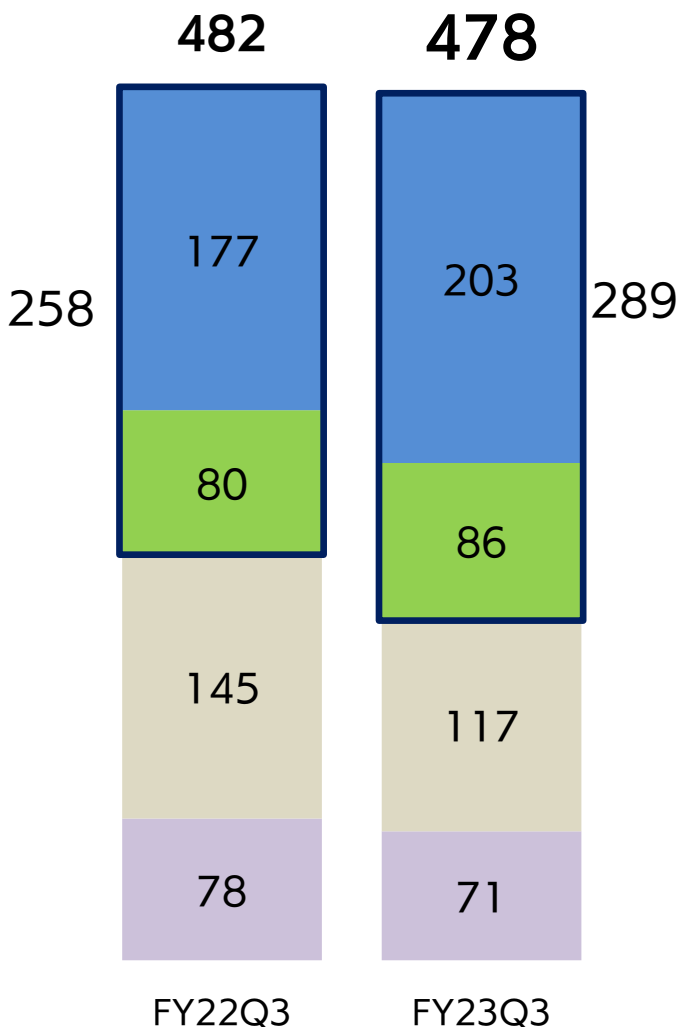
		FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	FY23Q2	FY23Q3	前年同期比	
										増減額	増減率
連結業績 (百万円)	売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	16,247	15,633	▲891	▲5.4%
	売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	3,904	3,655	+29	+0.8%
	利益率	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	23.1%	24.0%	23.4%	+1.5pt	-
通信	売上高	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	3,669	3,846	3,797	▲904	▲19.2%
	売上総利益	797	794	821	935	3,348	660	702	752	▲69	▲8.4%
	利益率	15.7%	16.8%	17.5%	18.5%	17.1%	18.0%	18.3%	19.8%	+2.3pt	-
エンタープライズ	売上高	7,021	7,540	7,493	8,300	30,356	7,862	8,158	8,066	+572	+7.6%
	売上総利益	1,764	1,925	1,933	2,302	7,926	1,887	2,183	2,236	+302	+15.6%
	利益率	25.1%	25.5%	25.8%	27.7%	26.1%	24.0%	26.8%	27.7%	+1.9pt	-
公共	売上高	2,374	2,927	3,442	4,478	13,224	3,403	3,376	3,407	▲35	▲1.0%
	売上総利益	145	254	321	587	1,309	465	451	468	+146	+45.7%
	利益率	6.1%	8.7%	9.3%	13.1%	9.9%	13.7%	13.4%	13.8%	+4.5pt	-
個人/ライセンス	売上高	1,084	946	886	1,153	4,070	1,023	867	361	▲525	▲59.3%
	売上総利益	699	563	547	799	2,610	679	566	197	▲350	▲64.0%
	利益率	64.5%	59.6%	61.8%	69.3%	64.1%	66.4%	65.4%	54.6%	▲7.2pt	-

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

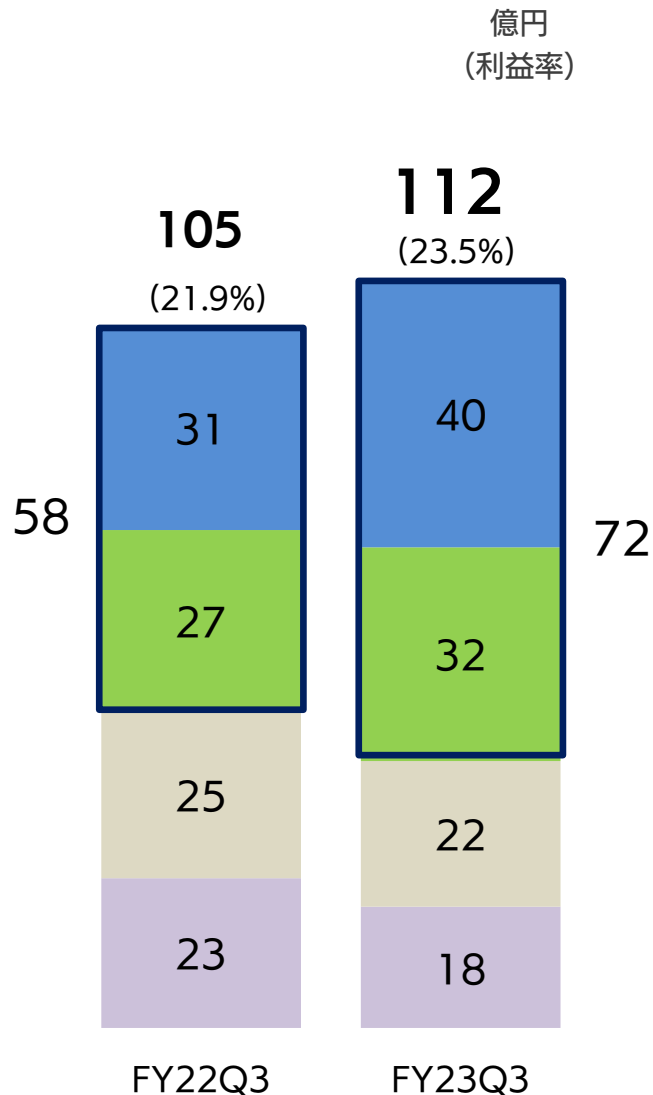
連結業績（百万円）	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	FY23Q2	FY23Q3	前年同期比	
									増減額	増減率
売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	16,247	15,633	▲891	▲5.4%
通信	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	3,669	3,846	3,797	▲904	▲19.2%
エンタープライズ	7,021	7,540	7,493	8,300	30,356	7,862	8,158	8,066	+572	+7.6%
公共	2,374	2,927	3,442	4,478	13,224	3,403	3,376	3,407	▲35	▲1.0%
個人/ライセンス	1,084	946	886	1,153	4,070	1,023	867	361	▲525	▲59.3%
売上原価	12,154	12,607	12,899	14,370	52,032	12,265	12,343	11,978	▲921	▲7.1%
売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	3,904	3,655	+29	+0.8%
販売管理費	2,320	2,353	2,354	2,609	9,637	2,636	2,678	2,330	▲23	▲1.0%
営業利益	1,085	1,184	1,271	2,015	5,557	1,057	1,225	1,324	+53	+4.2%
営業外損益	▲15	▲32	▲4	▲5	▲58	▲2	▲98	▲53	▲48	-
経常利益	1,070	1,152	1,266	2,009	5,499	1,054	1,127	1,271	+4	+0.4%
特別損益	7	23	3	▲77	▲42	▲133	6,594	84	+81	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	646	699	762	1,388	3,497	505	5,767	893	+131	+17.2%
EBITA	1,494	1,599	1,685	2,438	7,217	1,505	1,651	1,705	+20	+1.2%
単体 受注残高	29,602	27,921	25,641	35,939	35,939	33,388	30,375	26,654	+2,454	+4.0%

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

売上高



売上総利益



クラウドソリューション：増収・増益

- 農林水産省向けデジタル地図、共通申請の運用が伸長
- エンタープライズの注力顧客向けクラウド開発も拡大

セキュリティソリューション：増収・増益

- エンタープライズ向けMSS*が好調に推移

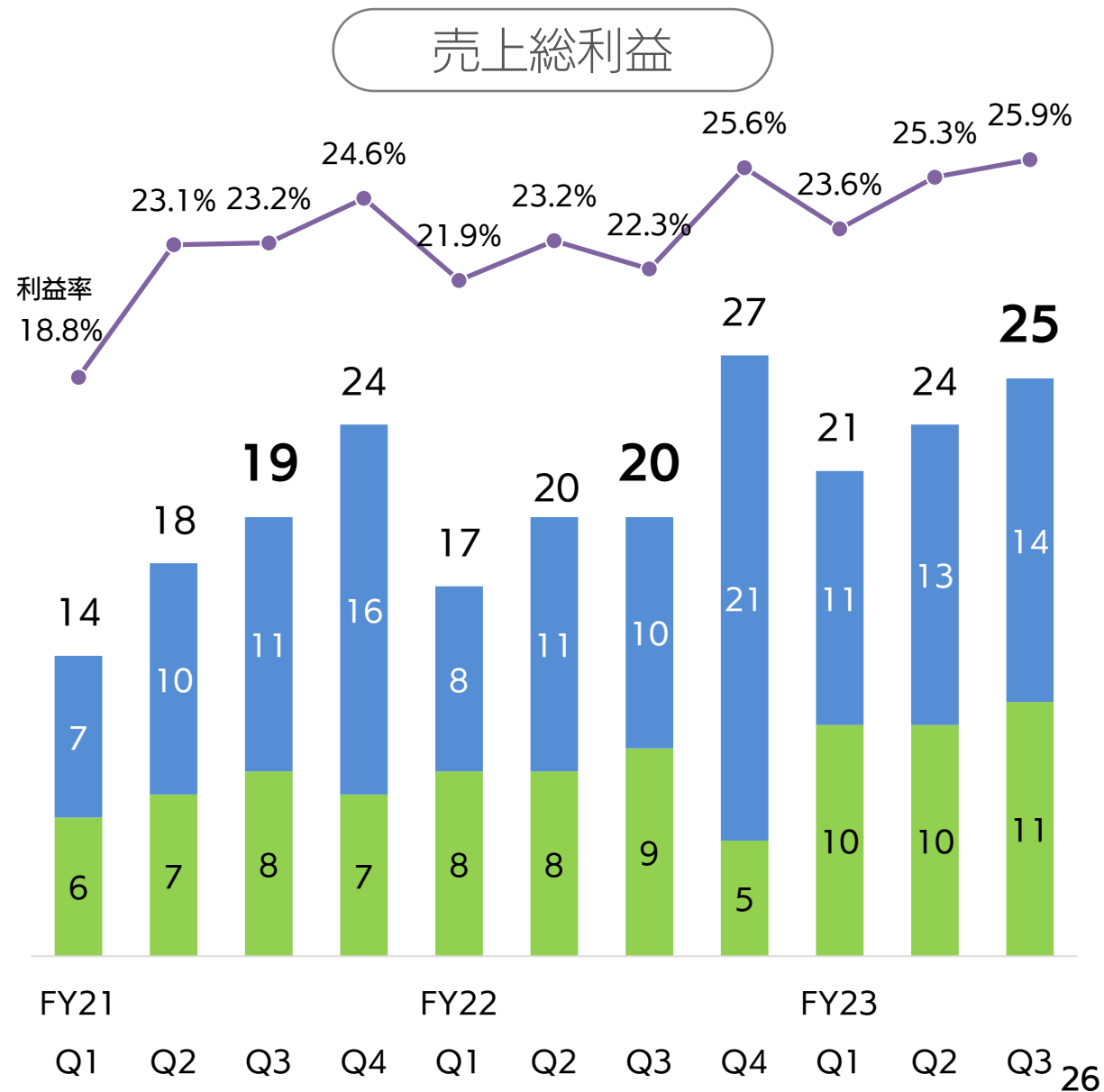
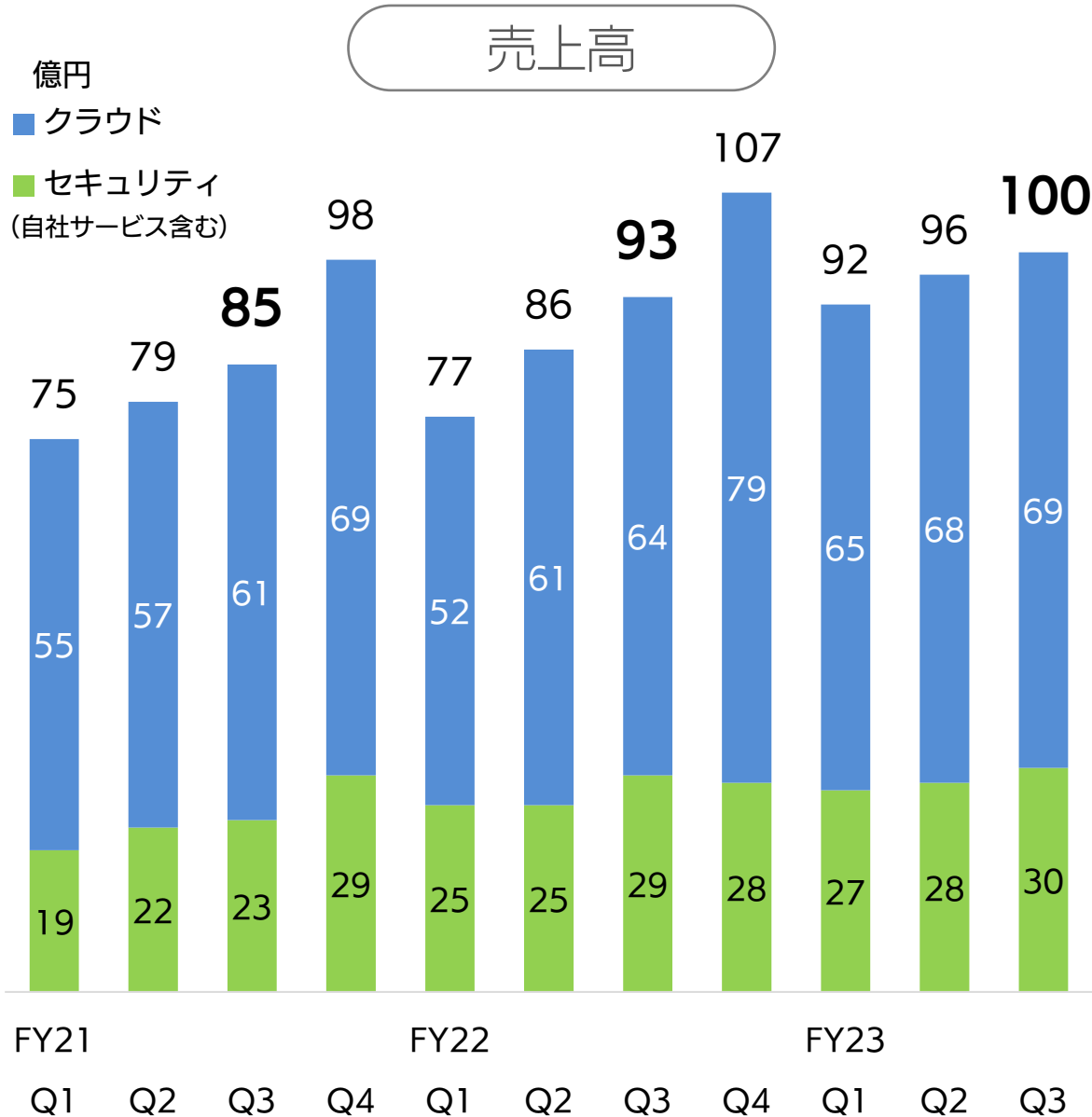
テクニカルソリューション：減収・減益

- ベンダーマネジメント案件の減少や投資抑制により減収したものの、効率化が進み利益率は着実に改善

機器・ライセンス：減収・減益

- フォントワークスの非連結化やライセンス販売案件の選別により減収減益

※：マネージドセキュリティサービスの略

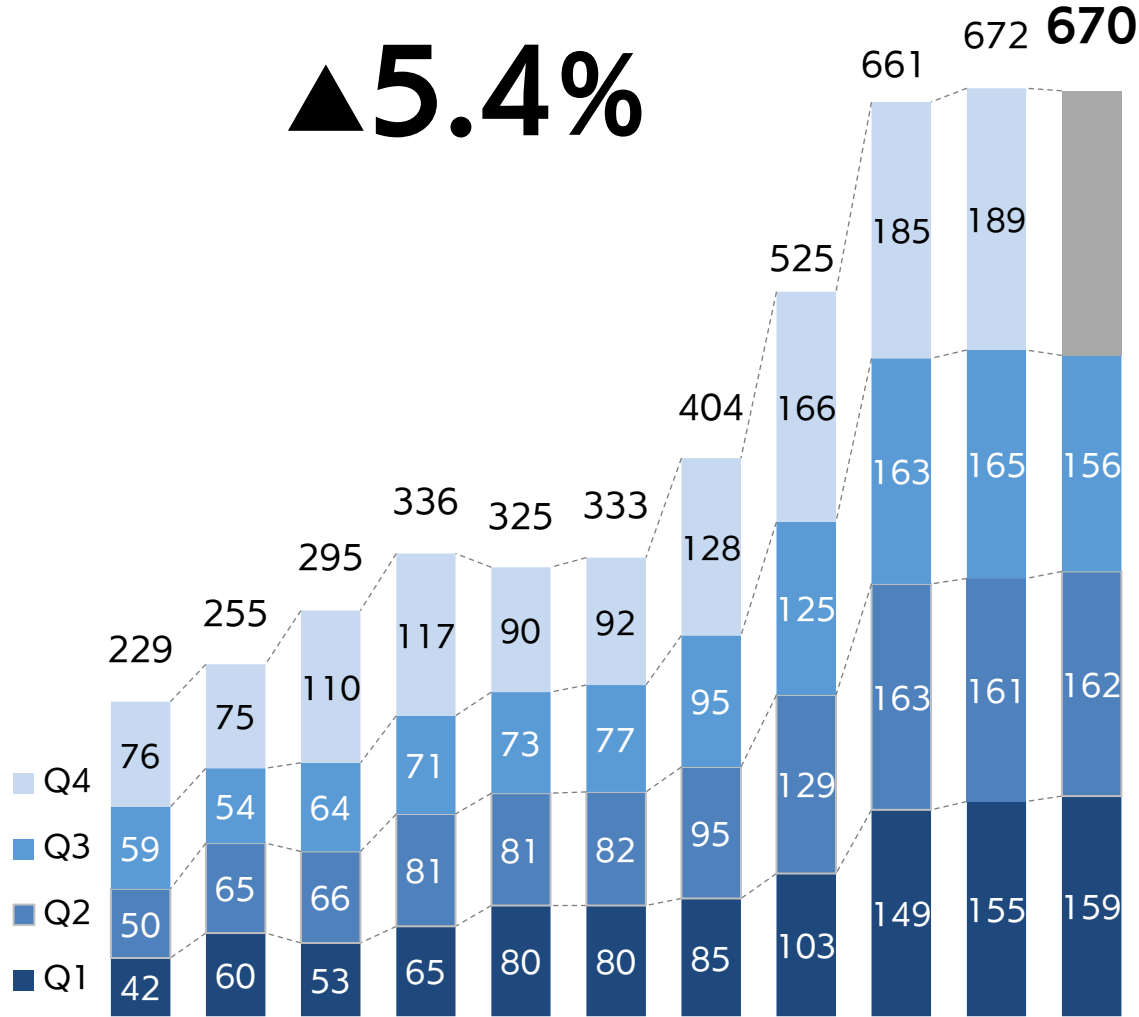


		FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	FY23Q2	FY23Q3	前期比	
										増減額	増減率
連結業績 (百万円)	売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	16,247	15,633	▲891	▲5.4%
	売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	3,904	3,655	+29	+0.8%
	利益率	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	23.1%	24.0%	23.4%	+1.5pt	-
クラウド	売上高	5,225	6,140	6,427	7,928	25,722	6,536	6,824	6,972	+545	+8.5%
	売上総利益	825	1,147	1,099	2,195	5,268	1,187	1,381	1,440	+340	+31.0%
	利益率	15.8%	18.7%	17.1%	27.7%	20.5%	18.2%	20.3%	20.7%	+3.6pt	-
セキュリティ	売上高	2,566	2,551	2,903	2,818	10,840	2,758	2,853	3,027	+124	+4.3%
	売上総利益	883	870	981	555	3,290	1,007	1,065	1,144	+163	+16.6%
	利益率	34.4%	34.1%	33.8%	19.7%	30.4%	36.5%	37.3%	37.8%	+4.0pt	-
テクニカル ソリューション	売上高	5,093	4,773	4,675	5,134	19,677	3,816	3,966	3,936	▲739	▲15.8%
	売上総利益	822	830	854	968	3,475	694	729	772	▲81	▲9.5%
	利益率	16.1%	17.4%	18.3%	18.9%	17.7%	18.2%	18.4%	19.6%	+1.3pt	-
機器販売/ライセンス	売上高	2,674	2,679	2,518	3,114	10,987	2,847	2,603	1,696	▲821	▲32.6%
	売上総利益	874	689	690	907	3,160	804	727	297	▲393	▲56.9%
	利益率	32.7%	25.7%	27.4%	29.1%	28.8%	28.3%	28.0%	17.5%	▲9.9pt	-
経営指標 合計	売上高	7,792	8,692	9,330	10,747	36,562	9,294	9,677	10,000	+669	+7.2%
	売上総利益	1,709	2,018	2,081	2,750	8,558	2,194	2,447	2,585	+504	+24.2%
	利益率	21.9%	23.2%	22.3%	25.6%	23.4%	23.6%	25.3%	25.9%	+3.6pt	-

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

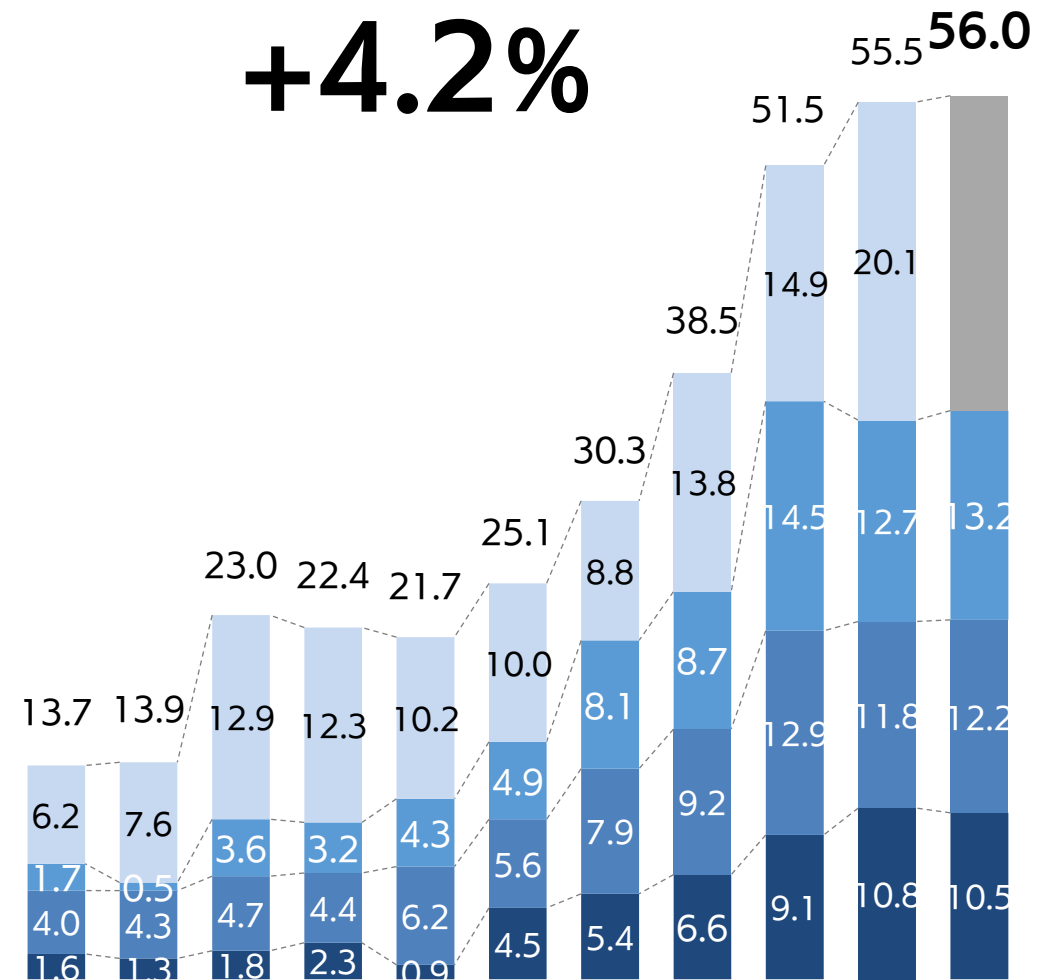
FY23Q3売上高 (前期比)

▲5.4%



FY23Q3営業利益 (前期比)

+4.2%



FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

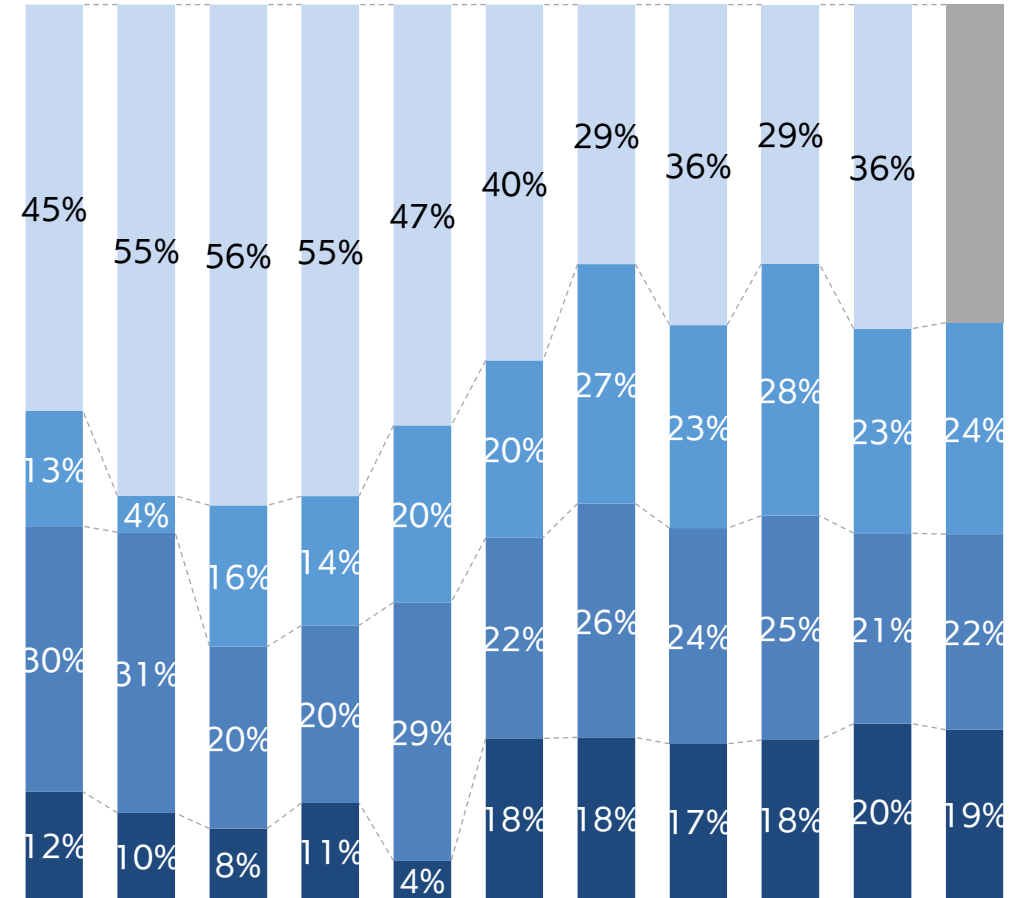
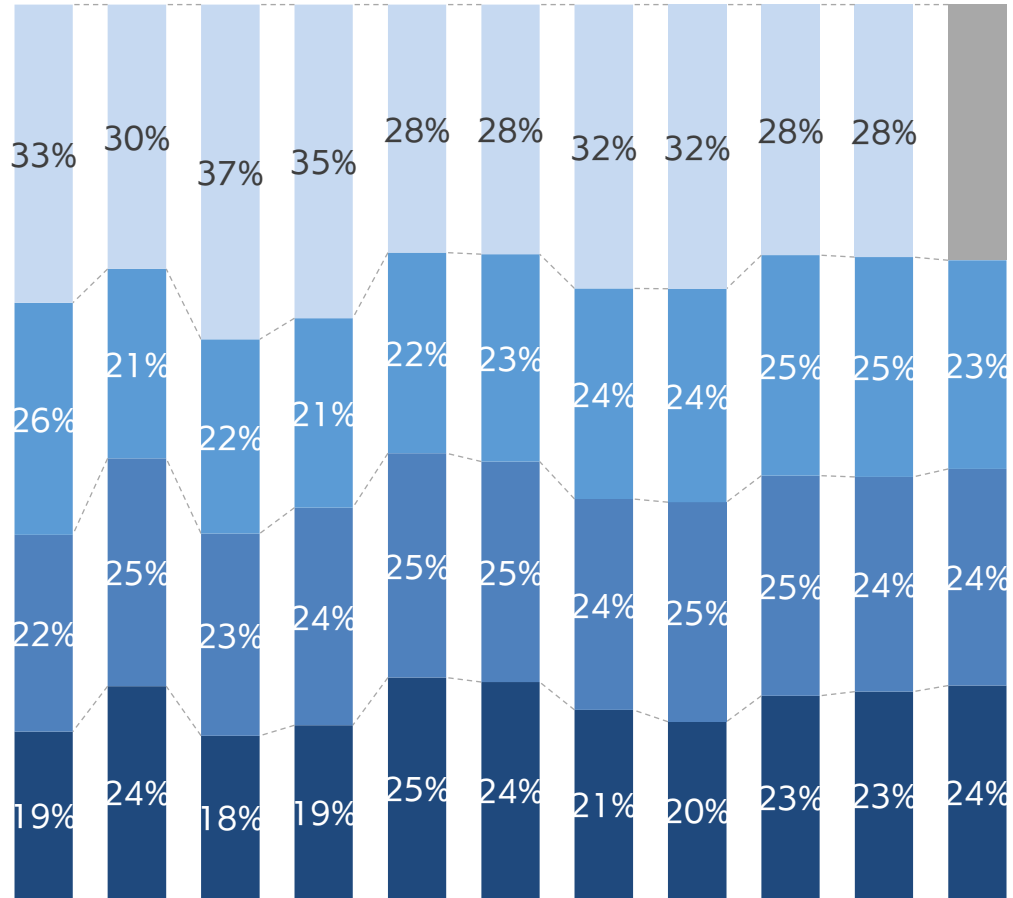
(億円)

※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

売上高

営業利益

■ Q4 ■ Q3 ■ Q2 ■ Q1



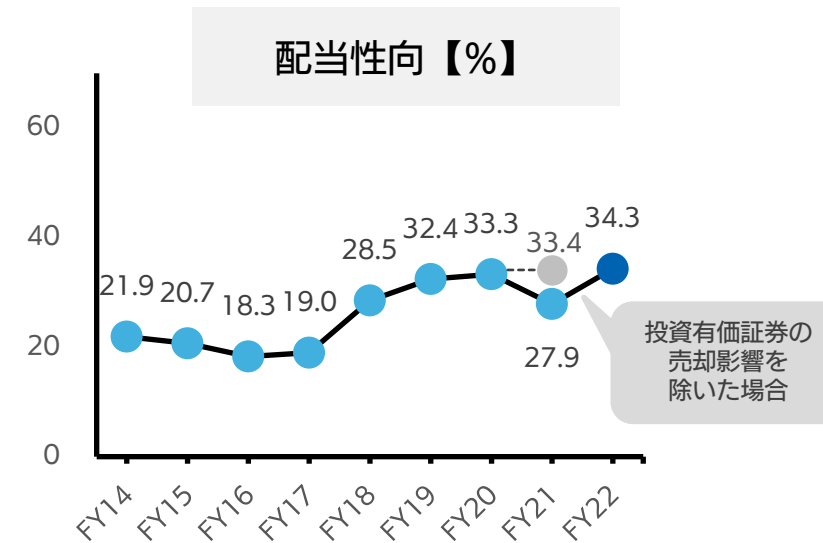
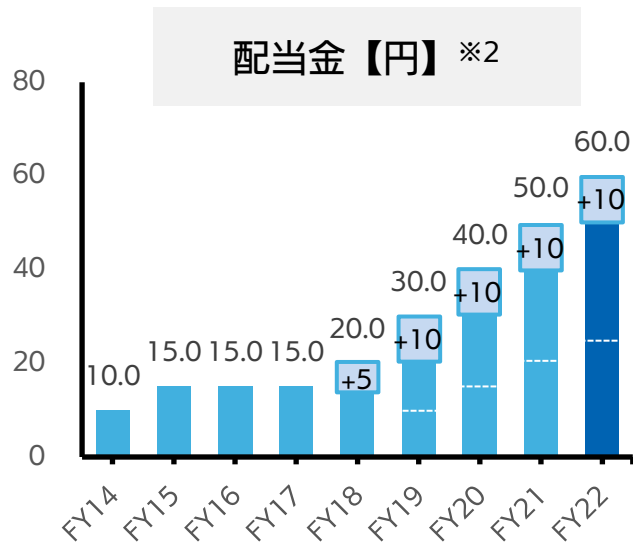
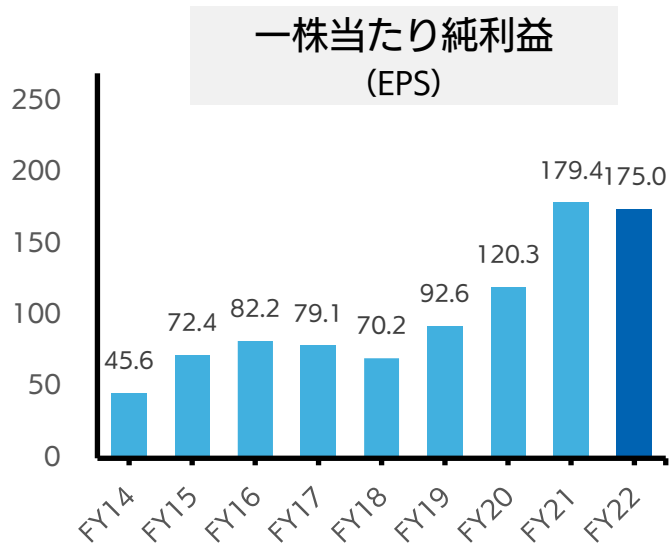
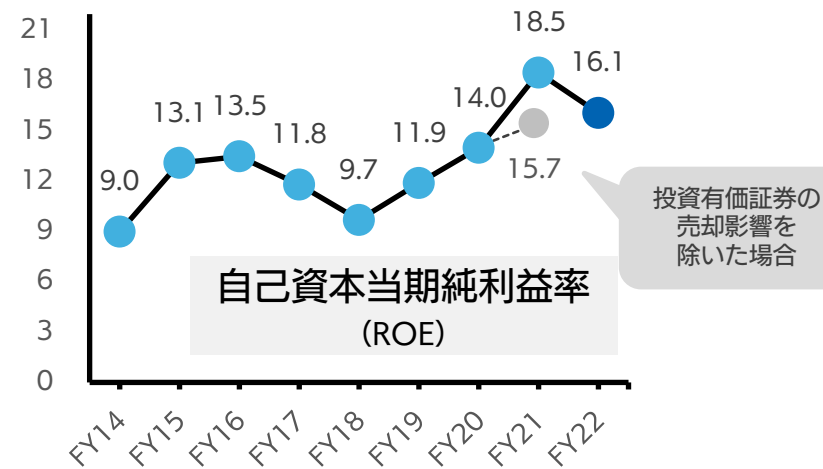
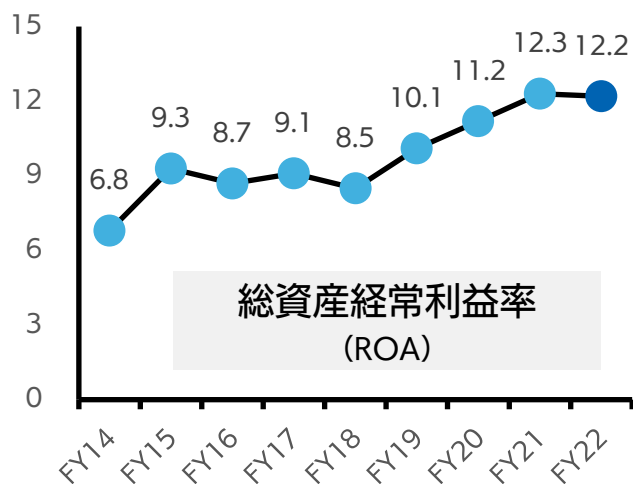
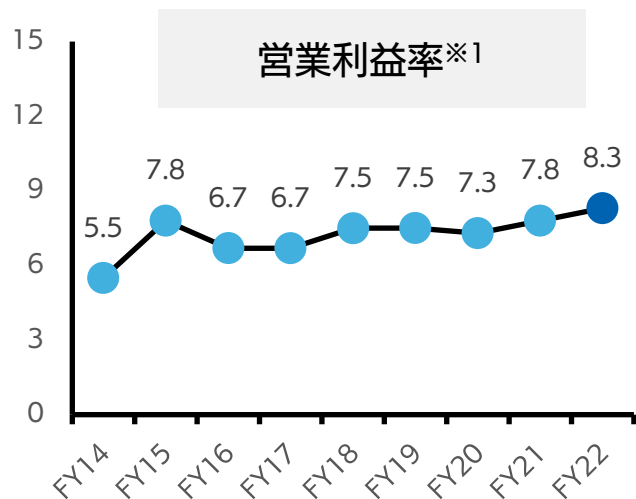
FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

(億円)

※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

(百万円)	2022/12末	2023/3末	2023/12末	前期末比	前年同期比
流動資産	31,623	35,622	38,969	3,346	7,345
現預金	8,903	8,221	12,857	4,635	3,953
受取手形・売掛金	19,071	24,133	20,027	△ 4,106	955
固定資産	9,491	9,842	9,759	△ 82	268
有形固定資産	1,969	1,681	1,330	△ 350	△ 638
無形固定資産	4,305	4,120	3,504	△ 615	△ 800
投資その他の資産	3,216	4,040	4,924	883	1,708
総資産	41,116	45,466	48,729	3,263	7,612
流動負債	15,851	18,590	16,112	△ 2,477	261
固定負債	1,617	1,708	1,226	△ 481	△ 390
純資産	23,647	25,167	31,389	6,222	7,742



※1：FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、主要な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした際の営業利益率

※2：2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割、それ以前の配当額を調整

会 社 情 報

＝ SB Technology

会社概要

(2023年3月31日現在)

商号 SBテクノロジー株式会社(※)
 所在地 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
 事業内容 ICTサービス事業
 設立 1990年10月16日
 資本金 1,270百万円
 従業員数 連結 1,417名 (単体 918名)

(※)2019年10月1日付でソフトバンク・テクノロジー株式会社からSBテクノロジー株式会社に商号変更しております



ISMS認証登録範囲:
 本社、芝大門、天王洲、
 大阪、名古屋、福岡、富山

経営理念

Mission 存在意義

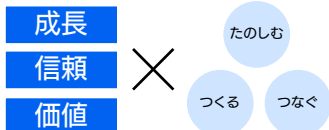
情報革命で人々を幸せに
 ~技術の力で、未来をつくる~

Vision 目指す姿

多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、
 社会に新しい価値を提供し続ける

Value 価値観・行動指針

3つの視点
 ×
 3つのアクションで
 多様性を認め合う



役員

(2023年9月1日現在)

取締役

代表取締役社長 CEO 阿多 親市
 取締役 CSO 佐藤 光浩
 取締役 CFO 岡崎 正明
 取締役 藤長 国浩
 社外取締役 鈴木 茂男
 社外取締役 宗像 義恵
 社外取締役 富永 由加里
 社外取締役 宮川 由香
 社外取締役 澤 円

監査役

常勤監査役 上野 光正
 監査役 廣瀬 治彦
 監査役 中野 通明
 監査役 内藤 隆志

執行役員

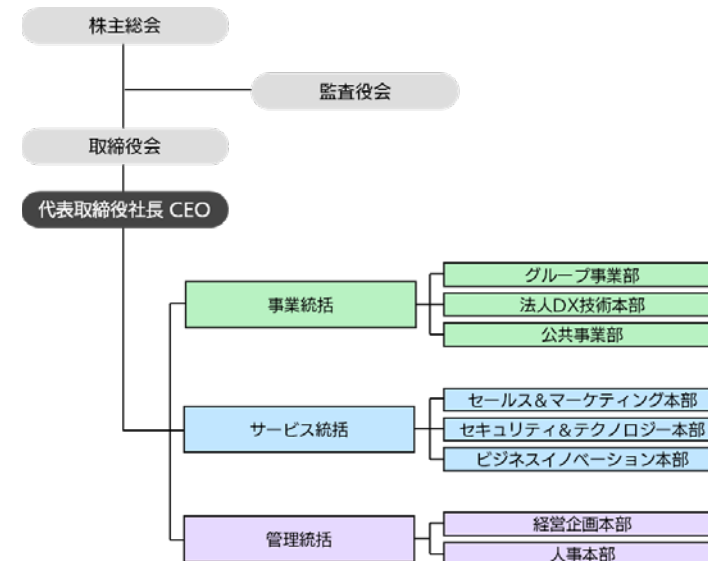
最高経営責任者執行役員 阿多 親市
 副社長執行役員 CSO 佐藤 光浩
 常務執行役員 CFO 岡崎 正明
 常務執行役員 喜多村 晃
 常務執行役員 CIO 渡辺 真生
 上席執行役員 CCO 正岡 聖一
 執行役員 青木 誠
 執行役員 宮澤 拓哉
 執行役員 CDO 兼 CISO 金澤 謙悟
 執行役員 CMO 上原 郁磨

役職名英文の正式名称は以下のとおりです

CEO Chief Executive Officer (最高経営責任者)
 CSO Chief Strategy Officer (最高戦略責任者)
 CFO Chief Financial Officer (最高財務責任者)
 CIO Chief Information Officer (最高情報責任者)
 CCO Chief Compliance Officer (最高コンプライアンス責任者)
 CDO Chief DX Officer (最高DX責任者)
 CISO Chief Information Security Officer (最高情報セキュリティ責任者)
 CMO Chief Marketing Officer (最高マーケティング責任者)

組織図

(2023年4月1日現在)



認定・評価

(2023年8月31日現在)



えるばし



くるみん



令和4年度
 「テレワーク先駆者百選」



2023
 健康経営優良法人
 Health and productivity

健康経営優良法人2023



DX認定



FTSE Blossom
 Japan Index



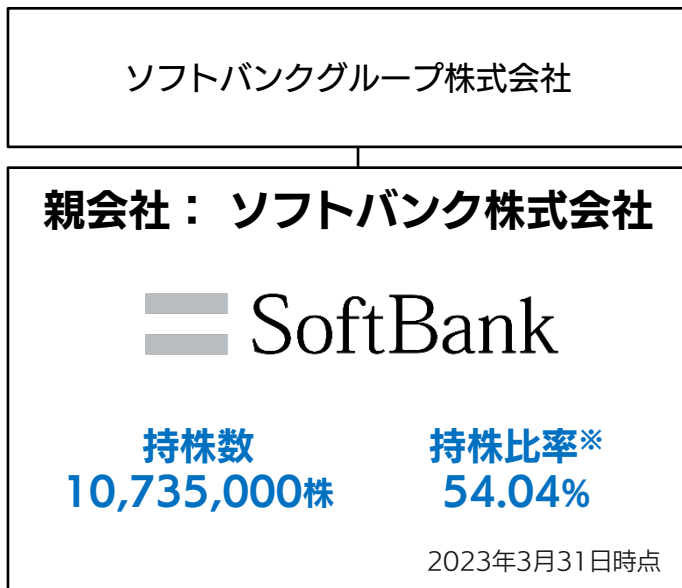
FTSE Blossom
 Japan Sector
 Relative Index

FTSE Blossom Japan
 Index Series



2022 - 2023年度選定

JPX日経中小型株指数



主要な子会社 (従業員数は2023年3月31日時点、代表者は2023年6月30日時点)

	<p>M-SOLUTIONS株式会社 クラウドサービス及びスマートデバイスを中心としたシステムの設計・開発及び保守・運用サービスの提供</p>	<p>代表者： 植草 学 出資比率： 100% 従業員数： 56名</p>
	<p>株式会社 環 クラウドサービスを活用した社内の業務改善・コミュニケーション改革を実現する教育コンテンツの提供</p>	<p>代表者： 青木 沙織 出資比率： 100% 従業員数： 10名</p>
	<p>サイバートラスト株式会社 IoTサービス、OSS/Linuxサービス、認証・セキュリティサービスの提供</p>	<p>代表者： 北村 裕司 出資比率： 58.01% 従業員数： 225名</p>
	<p>リデン株式会社 農業データの利活用を促進し、農業成長サイクルの加速を支援するプラットフォームの提供</p>	<p>代表者： 上原 郁磨 出資比率： 82.57% 従業員数： 2名</p>
	<p>株式会社電縁 通信、自治体などを中心としたシステムコンサルティング、Webシステム開発の提供</p>	<p>代表者： 小中 帝宣 出資比率： 100% 従業員数： 76名</p>
	<p>アイ・オーシステムインテグレーション株式会社 情報処理システムの開発及び販売・保守等の提供</p>	<p>代表者： 関口 雅之 出資比率： 100% 従業員数： 27名</p>

※自己株式を控除した議決権ベースでの比率

クラウドとセキュリティで お客様のDX化を支援

ICTサービスビジネス

通信

- オンプレミス（プライベートクラウド含）のシステム構築/運用保守
- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用
- セキュリティ運用監視サービス 等

エンタープライズ

- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoT・DXソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス、電子認証ソリューション 等

公共

- クラウド移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoT・DXソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス 等

個人

- ノートンストア等のECサイト運営代行 等



国内トップクラスのクラウド導入実績と、マイクロソフトが認める技術力

クラウドサービスが普及し始めた2009年からクラウドビジネスを開始し、エンタープライズ企業を中心にMicrosoft 365の導入、Microsoft Azure環境での構築支援など、クラウドソリューションの導入と運用を行っています。このクラウドソリューションを基盤に、さらなるデータの利活用やDX人材の育成・創出などお客様の課題に寄り添った幅広いDX支援を行っています。

実績

クラウドソリューションの導入実績は1,000社以上に及び、豊富な開発実績とノウハウを蓄積。製造業や建設業などさまざまな業界に向けて支援を行っています。

建設業、製造業、教育機関など
大手企業を中心に多数導入



外部評価

日本マイクロソフトがパートナー向けに行うアワードで10年連続受賞。2023年は、セキュリティ分野の「Defend against threats with SIEM plus XDR」を受賞しました。

マイクロソフト ジャパン
パートナー オブ ザ イヤー



2014年から10年連続受賞

Microsoft Worldwide
Partner Award



日本初の4冠受賞

サービス

clouXion (クラウジョン) は、Microsoft 365 を利活用するための当社のクラウドソリューションブランドです。「働き方改革」の具体的な課題解決のために生まれました。



clouXion 導入実績 **914社**
2023年8月時点



情報セキュリティのトータルソリューションを提供

巧妙化・多様化するサイバー攻撃への対策として、セキュリティ導入支援から、セキュリティシステムの運用監視を行うマネージドセキュリティサービス (MSS)、経験豊富な専門家によるCSIRT※1構築支援、企業の包括的なセキュリティを支援するコンサルティングなど、お客様の重要な情報資産保護や事業継続をサポートする幅広いサービスをワンストップで提供しています。

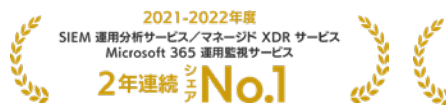
実績

数百を超えるエンタープライズのお客様にMSSを提供しています。自治体向けには12県405市町村に対して、総務省が推進を行う「自治体情報セキュリティクラウド」の構築・運用、MSSの提供を行っています。

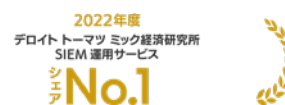


外部評価

SBTのセキュリティサービスを多くの企業・組織にてご利用いただき、国内の各種市場調査において売上シェア1位を獲得しています。



「SIEM 運用分析サービス/マネージド XDR サービス」
「Microsoft 365 運用監視サービス」市場
ベンダー別売上金額シェア No.1 ※2



「SIEM運用サービス」市場
売上金額シェア No.1 ※3

サービス

セキュリティ監視センターにて、専門のセキュリティアナリストが24時間365日体制でお客様環境のセキュリティシステムやネットワークを監視し、サイバー攻撃や不正アクセスから守るMSSを提供しています。



セキュリティ監視センター

※1 「Computer Security Incident Response Team」の略語で、マルウェア感染や侵入などのインシデントが発生したときに対応するチームを指す。

※2：出典 ITR 「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型 SOC サービス市場2023」

※3：出典 デロイト トーマツ ミック経済研究所 「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」(2023年6月発行) <https://mic-r.co.jp/mr/02800/>

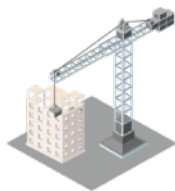


クラウド基盤によるデータ・AIの活用支援をワンストップで提供

2014年からデータ領域のビジネスを開始し、データプラットフォームの構築、BIツールを用いた分析・可視化、AI活用に至るまでクラウド基盤でのソリューションを提供します。導入支援から導入後の内製化、運用サポート等、ワンストップで幅広い支援が可能です。データサイエンティストによるコンサルティングを通じて、お客様のDX化に貢献します。

強み

Azure Machine Learning、Microsoft Power BI等、Azureを用いたクラウド基盤での支援を得意としています。特に製造業を中心に、機械学習を用いたシステムや予測モデルの構築など、データに基づきお客様のビジネスを支援します。



外部評価

データ領域における評価として、マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザイヤー 2021にてPower Apps & BI を受賞。2023年、Dynamics 365やPower Platformでの課題解決の実績が認められ、トップエンジニアアワードを受賞しました。



サービス

社内利用やお客様との実証を通じて、生成AIの回答精度を高めるコア技術を開発。この技術をサービスに反映し、日々の業務で活用できる生成AIサービス「dailyAI」をリリースしました。あらゆるビジネスシーンに必要な機能を兼ね備えた生成AIサービスとして、お客様の生産性向上に貢献します。

daily AI



情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～

SBTグループは持続可能な社会の実現に向け、
事業・企業活動を通じて、さまざまな社会課題の解決に取り組みます。

基本方針



ICTサービスの提供によるイノベーション創出で、
お客様の価値創造に貢献します。



株主の期待に沿えるよう、成長への挑戦を忘れず、
透明で公正な情報開示をします。



従業員のやりがいと誇り、個性がいかされ、
性別や年齢、国籍等にとらわれない、平等で多様性
に富み、チャレンジできる環境を大切にします。



汚職や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止し、
取引先との公正な取引関係を築きます。



気候変動対応に向けて、温室効果ガス排出量の削減や
エネルギー効率の向上、水などの資源利用の削減
及び効率化、生物多様性への配慮などに取り組みます。



次世代育成、情報セキュリティの強化、
災害対策・復興支援などを通じて、
豊かな情報化社会の実現に貢献します。



国際規範や各種法令・ルールを遵守し、
誠実な事業活動を行います。



2023/12/13 ITRの調査レポートにおいて、SOCサービス市場の2分野で2年連続シェア1位を獲得



株式会社アイ・ティ・アール（以下 ITR）が2023年11月21日に発行した「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型SOCサービス市場2023」において、「SIEM運用分析サービス/マネージドXDRサービス市場」及び「Microsoft 365運用監視サービス市場」の2分野で、2022年度ベンダー別売上金額シェア1位を獲得し、昨年に続いて2年連続シェア1位となりました。このほか、「ID管理セキュリティ運用監視サービス市場」における国内シェアは2位で、前年度比226%の急成長を遂げました。ITRよりSBTに対して、「セキュリティ監視人員の増強など積極的な展開により実績が増加している。同社の急成長が市場の伸びに貢献した。」と評価いただきました。

2024/01/12 令和6年能登半島地震に対する支援のお知らせ



2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」による被災者の支援および、被災地の復興に役立てていただくため、社会福祉法人 中央共同募金会を通じて支援金1,000万円を寄付いたしました。

「令和6年能登半島地震」により、被災されたすべての方々に対して、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、救援・復旧活動に尽力されている皆様へ深く敬意を表しますとともに、被災地の一刻も早い復興を心からお祈り申し上げます。

2024/01/15 【導入事例】花王株式会社が、「ウェブアクセシビリティ・コンサルティングサービス」を採用



グローバル全体で700ものサイトを有する花王グループにおいて、アクセシビリティ資格保有者がコンサルティングを実施する「ウェブアクセシビリティ・コンサルティングサービス」を採用いただきました。Web サイト関係者からの問い合わせ増加による回答業務の負荷削減、及び誰にでも使いやすい Web サイトの実現に向けて、SBTのアクセシビリティ検査技術者検定の資格保有者によるコンサルティングを実施。約50時間/月に相当する問い合わせ対応時間の削減や、Web 制作担当者のアクセシビリティに対する意識・知識の向上に寄与しました。

2024/01/25 CentOSのメンテナンス終了後のセキュリティ対策「CentOS延長パッケージ」を提供開始



国内でCentOS Linux（以下 CentOS）6, 7, 8を利用している組織向けにセキュリティ対策を行う修正パッケージ「CentOS延長パッケージ」を、2024年1月25日から自社ECサイト「NOZ SHOP（読み：ノズショップ）」にて提供開始します。

本サービスは、SBTの子会社でLinuxOSの開発を手掛けるサイバートラスト社が提供するCentOSのセキュリティパッケージを、最短3か月からお客様のニーズに合わせた契約期間で利用できるサービスです。コミュニティによるメンテナンスが既に終了しているCentOS 6, 8 及びこれから終了を迎えるCentOS 7 について、それぞれの終了日から4年間セキュリティパッケージを提供します。

2024/01/25 NOZ SHOPオープンのお知らせ

The logo for NOZ SHOP, featuring the text "NOZ SHOP" in a bold, black, sans-serif font. The letters are stylized with a slight shadow effect, giving them a three-dimensional appearance.

法人向けソリューションを中心としたサービスを取り扱うオンラインショップ「NOZ SHOP（読み：ノズショップ）」を2024年1月25日にオープンしました。NOZ SHOPとは、自社サービスの総合ブランドである「NOZ」に関連したECサイトです。

今後、ソリューションのラインアップを随時拡充してまいります。

オンラインショップ「NOZ SHOP」URL：<https://noz-shop.jp/>

数字で見るSBテクノロジー

※ (連結)の記載がない項目はSBテクノロジー単体の指標となります。
※ 期間の掲載がない項目は2023年3月末時点のものです。

働く人

SBテクノロジー
社員数
(連結) **1,417名**

23年度新卒
76名
(連結)

平均年齢
38.4歳

働き方

生産性向上による残業削減
42時間 → 27時間
(2015年度) (2022年度)

1人あたり有給消化率
70%
(2022年度)

テレワーク実施率
60%
(2022年度下期)

成長支援

能力開発休暇の活用
取得人数 **242人** 取得総日数 **536日**
(2022年度)

PMP保有者
155人

CBAP保有者
52人

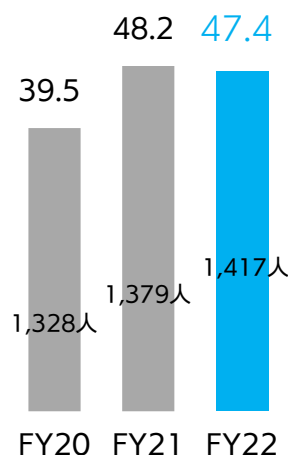
技術人員

職種比率
7 : 2 : 1
(技術) (営業) (管理)

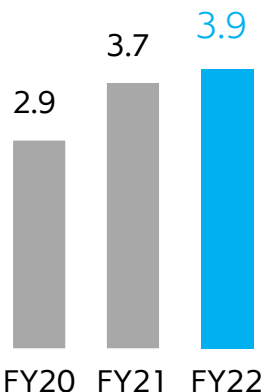
開発パートナー
約2,800人

社員1人あたり指標 (百万円)

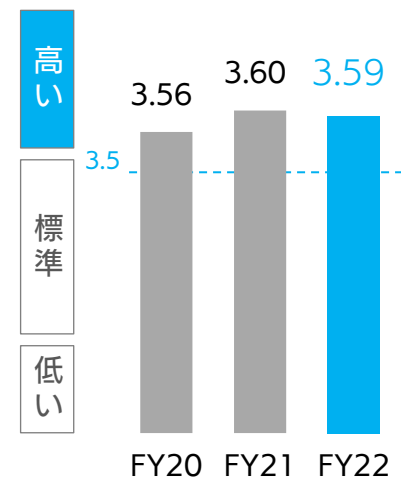
売上高※1 (連結)



営業利益 (連結)



社員総合満足度 (5段階評価)



PMP (Project Management Professional)

幅広い知識とプロジェクトマネージャーとしての実務経験が求められるプロジェクト管理の国際標準資格。SBテクノロジー技術社員の約2割が保有。

CBAP (Certified Business Analysis Professional)

5年以上の経験豊富なビジネスアナリシス実務経験者を認定する資格試験。

当社社員が働くうえで重視する指標の1位は「やりがい」。アンケートではやりがいに関する各指標が例年高水準。

※1 FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

資料留意事項

1. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
2. 2022年3月期より「新収益認識に関する会計基準」を適用しており、2021年3月期以前の売上高については主な影響であるノートンビジネスを過去から純額表示にした未監査の参考値を記載しております。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology